

パイロキープ、フォック、セラポリマー用  
**硬化促進剤の添加要領**

- 冬期（寒冷期）の硬化促進
- 塗り重ね、解放時間の短縮



食品工場床



アルミ壁美装保護



ウォータースライダー



バスタブ改修



プール内面塗装



ボックスカルバート  
落書き



ボックスカルバート  
落書き対策



下水処理曹



事務所床耐汚染



保育園滑り台保護



塩ビシート耐汚染



施工後  
アルミボート



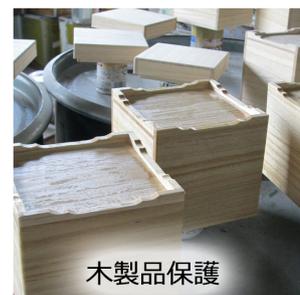
壁高覧落書き対策



戸建美装



木デスク保護塗装



木製品保護



歩行通路耐汚染



磁器タイル壁



磁器タイル床耐汚染



金属防食

## 株式会社 彩色工房

広島市安佐北区落合南1丁目3-13 富田第一ビル104 TEL/FAX: 082-847-3080  
HP: <http://www.314ki.com> Email: [info@314ki.com](mailto:info@314ki.com)

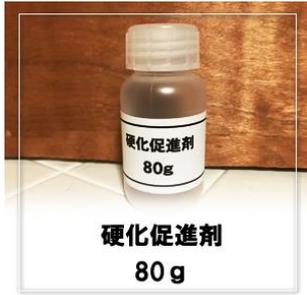
パイロキープ、フォック、セラポリマーは2液性シリコン系塗料です。

欠点として気温依存性が強く寒冷期には硬化速度やタック切れが遅くなり養生時間や塗り重ね時間が長くなり作業性が悪くなります。

夏場の乾燥時間が6時間程度に対し寒冷期では12時間～24時間を要します。

これを補う為、硬化促進剤をTS2000番で通常2%程度(最大4%)を添加し夏場の乾燥時間に近づけます。又、夏場であっても塗り重ね時間を早めたい場合や養生解放を早める必要がある場合は使用するケースもあります。

但し、硬化促進剤を添加した場合、塗料の使用可能時間が短くなりますのでご注意ください。



硬化促進剤  
80g

(別売硬化促進剤荷姿)



硬化促進剤  
200g



※パイロキープ、フォック、セラポリマー計量、特に硬化促進剤の計量は料理用精密計量器等をご使用下さい。(硬化促進剤の計量はメモリ付きスポイドも可能)

寒冷期の硬化促進剤の添加量目安とその場合の使用可能時間の変化は、

- ① パイロキープ TS2000 (セラポリマー2000)、フォック LC185 (セラポリマーSP403) は、通常2% (最大4%) 添加。その場合の使用可能時間は1時間(2%)～30分(4%)でゲル化。フォック LC185 (セラポリマーSP403) は硬化が遅い為、夏場でも2%程度の硬化促進剤の添加推奨。(硬化促進剤の%は、本剤の主剤・硬化剤混合重量に対する)
- ② パイロキープ TS-FX クリアー (セラポリマーFX クリアー) は通常0.5% (最大1%) その場合の使用可能時間は30分(0.5%)～15分(1%)程度でゲル化。

※よって添加無しの場合の2時間～1時間の使用可能時間が半分以下となりますので速やかな施工。多量の混合は避ける。をお願いします。

又、バスタブ等の小㎡物件の施工では夏場でも硬化促進剤を利用し効率の良い施工を行う場合もあります。

(施工例) 夏場のバスタブの吹付け施工

パイロキープ TS2000 (セラポリマー2000) に硬化促進剤2%添加して吹付  
↓ (2時間程度の養生時間で硬化タック切れ)

ジスクペーパーによりブツ研磨～パイロキープ TS2000 (セラポリマー2000) に硬化促進剤2%添加して吹付  
↓ (2時間程度の養生時間で硬化タック切れ)

十分な硬化を確認しポリッシング等の仕上げ作業

上記の硬化促進剤の添加量は目安です。寒冷期であっても㎡数が多く使用可能時間が必要な場合は2%を1%とし使用可能時間確保を優先にするなどの調整をして下さい。